



令和4年2月 川内市医師会在宅医療支援センター発行
 ADD…薩摩川内市大小路町70番26号
 TEL…0996-22-4021
 FAX…0996-22-8114
 H P…https://iisennet.jp

QRコードより
 いいせんネット
 ホームページに
 アクセスできます



平成31年2月に、いいせん便り発行を開始しました。各協議会の皆様にご協力いただき、このたび第10号を発行することができました。バックナンバー(過去発行分)を「いいせんネットホームページ」で見ることができますので、よろしければご覧ください。

川内市医師会は、薩摩川内市と受託契約を結び、在宅医療推進事業に取り組んでいます。在宅で医療や介護が必要になっても在宅医療を受けながら最期まで自分らしい生活をする「在宅医療」という選択肢を知っていただくために、在宅医療支援センターの活動や医療・介護職の取り組み等、在宅で役に立つ豆知識などの情報を発信しています。

各種研修会を開催しました

医療介護連携に関する意見交換会(11月25日)



感染予防対策のためマスク越し・パーティション越しでグループワークをしました。また、会場とオンラインを併用したハイブリッド型の研修会とさせていただきました。

【テーマ】みんなでつくる薩摩川内の医療・介護連携

●参加者 63名(会場参加者34名、オンライン参加者29名)●

- ①報告「令和3年度入退院調整ルールアンケート結果について」
報告者：川薩保健所 健康企画課 健康増進係長 五反田 都子 氏
- ②グループワーク「みんなで体験！退院前カンファレンス」
事例提供者：若松記念病院 医療ソーシャルワーカー 鶴原 里志 氏

第2回お昼のミニ勉強会(11月30日)

ボディソープ、シャンプー、リンスなどの容器に入っているか触って確認できます

【テーマ】視覚障害・聴覚障害患者のケア
 参加者：会場2名、オンライン4名
 講師：川内市医師会立市民病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 福永香氏

障害とその患者のケアについて理解を深めることができました

第1回お口のミニ勉強会(2月7日)

新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて完全オンラインで開催しました

講師 川内市医師会 在宅医療支援センター 歯科衛生士 林千鶴

口腔ケアと感染予防に関する基礎知識を学びました。次回は3月に「実践編」を開催する予定です。

【テーマ】口腔ケア～感染予防のために(基礎編)～
 ●オンライン参加者 2名●

第2回いいせんネット研修会(12月9日)

【テーマ】その人らしい生活を支えるための排泄ケア
 講演「その人らしい排泄ケアについて」
 講師：川内市医師会立市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 福山垂須香氏
 参加者58名(会場参加者31名、オンライン参加者27名)
 患者さんのために明日から活かせる排泄ケアについて大変分かりやすくご講演いただきました。

非常に悪い(前100時間)	1	コロコロ便	破けてコロコロの塊状の便
	2	硬い便	ソーセージ状であるが硬い便
	3	やや硬い便	表面にひび割れのあるソーセージ状の便
消化物の通過時間	4	普通便	表面がなめらかで柔らかいソーセージ状、あるいは蛇のようなとろろを巻く便
	5	やや軟らかい便	ばっさりとしたしほのある柔らかい半分固形の便
	6	泥状便	塊界がほぐれて、ふにふにの不定形の小片便泥状の便
非常に早い(前10時間)	7	水様便	水様で、固形物を含まない液体状の便

- 今後の予定
- 2月10日(金)令和3年度第3回いいせんネット研修会 19:00～「ACPIについて」(SSプラザ⇒完全オンラインに変更)
 - 2月18日(金)第3回お昼のレベルアップ研修会 14:00～「麻痺のある方のケア」(医師会訪客ST⇒完全オンライン)
 - 3月17日(木)第2回実践！お口のミニ勉強会「口腔ケア～感染予防のために～(実践編)」(完全オンライン)

出前講座を積極的にお受けしております

R3.4.1～R4.1.31の実績
 高齢者サロン9箇所 周知人数 計166名

*健やか支援アドバイザー研修会



地域で見守り活動をされる健やか支援アドバイザーさんへ在宅医療やACPについてお話ししました。

(令和3年11月 全11会場 366名)

感染対策を充分おこないながら、今後も在宅医療や医療介護連携に関する周知活動を継続いたします。

毎号、川内地域の医療・介護に関わる多職種の方に活動内容のご紹介させていただいております。今回は「栄養士会」様にご協力いただきました。

*高齢者サロン



平佐町中ノ原語いもそ会 (令和3年11月26日 13名)



在宅医療やお口の健康についてお話ししました。



平佐町喜入いきいきサロン (令和4年1月11日 22名)

川内地区栄養士会 事務局…すこやかふれあいプラザ(川内保健センター・薩摩川内市西開町6-10)
 私たち川内地区栄養士会は、主にひとつの病院に配属される管理栄養士が1～2名のため、病態栄養を給食で実践する具体的な方法の情報共有や患者食の質の向上させることを目指し発足しました。現在の会員は医療機関、福祉施設、在宅、公共機関に所属する栄養士・管理栄養士37名です。

- 【活動目的】①食生活に関する知識の普及啓発を行う
 ②会員の栄養に関する専門的資質の向上に努める
 ③地域住民の健康と福祉の増進に寄与する

【活動内容】総会 専門的研修会(年6～7回) 市の各種イベントへの協力 夏休みこどもクッキング教室 など
 会員同士でコミュニケーションを図ることで、地域内の栄養士同士が繋がり、相談や情報交換ができるネットワークが作られています。現在コロナ禍において通常の活動は困難ですが、今を考えることを考え、この会の活動を継続したいという想いを新たにするとともに、この会のネットワークの大切さを実感したところです。また、多職種の皆様を対象とした講習も考えておりますので、その際はご協力をどうぞよろしくお願い致します。

誤嚥性肺炎とは？

誤嚥性肺炎とは、誤嚥から発症する肺炎のことを指します。肺炎は、近年日本人の死亡原因第5位という高い割合を占めています。高齢者の肺炎の殆どは誤嚥性肺炎と考えられ、介護する側介護される側の両方にとって大きな問題となっています。誤嚥性肺炎は、口の中の細菌が食べ物や唾液と一緒に誤って気管支や肺に入り込み発症しますが、口腔内の細菌が誤嚥性肺炎の原因である事から口腔ケアをしっかり行う事も重要と言えます。嚥下機能低下した高齢者や脳梗塞の後遺症やパーキンソン病等の神経疾患を抱えている患者、寝たきりの患者に多く発症します。

感染のリスクを減らすために、口の中を清潔にして誤嚥時の細菌を減らし、肺炎の発症率を下げる事が非常に重要です。

【在宅医療の相談窓口】

川内市医師会 在宅医療支援センター(薩摩川内市大小路町70番26号)
 TEL:0996-22-4021 FAX:0996-22-8114
 月～金…8:30～17:10 土…8:30～11:50 日祝…お休み

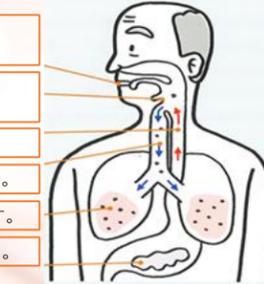
お気軽にご相談ください

職員体制…保健師1名、歯科衛生士1名、看護師1名(産休代替)
 令和3年4月1日～在宅医療と在宅歯科医療の相談窓口を一本化しました

一誤嚥性肺炎を予防する方法一

- ①歯、舌、口腔粘膜、義歯の丁寧な清掃
- ②嚥下機能の改善(嚥下体操、口腔マッサージ)
- ③食事の工夫
- ④食事時の姿勢
- ⑤食事に意識を集中する
- ⑥食後2時間は横にならない(胃の内容物の逆流から誤嚥を招くため)

- 口…虫歯などで歯が弱り、咀嚼力が低下する。唾液の分泌が減る。
- 喉頭蓋…嚥下反射がうまくいかず、食物が気管支に入る。
- 食道…喉頭、食道の筋力が低下する。
- 気管…細菌を含んだ唾液などが気管に入る。
- 肺…細菌が肺に入って肺炎を起こす。
- 胃…胃の内容物が逆流して気管に入る。



職員向け出前講座をお受けします

入所者様や利用者様のお口のケアについて、お困りではありませんか？当センターの歯科衛生士が、無料で出前講座に参ります。お気軽に在宅医療支援センターへご相談ください。

- 【内容例】
- ・口腔ケアの基礎知識
 - ・義歯のお手入れ方法
 - ・毎日の口腔ケア
 - ・洗浄剤の選び方
- ※その他相談に応じます

文責：川内市医師会在宅医療支援センター 林千鶴